

お出かけ今昔館 ～豊臣大坂城下町への旅

豊臣秀吉は大坂城築城の際、平野郷など周辺の町人を移住させ、城下町を建設したと言われています。最新の研究では、最初の大坂城下が上町台地に拓かれたことや、平野町の名前が歴史にあらわれた時期なども明らかになってきました。

豊臣大坂城が落城後、徳川が大坂城を再築。それから1世紀を経た元禄年間の北平野町の絵図が「大阪くらしの今昔館」に収蔵されています

「豊臣大坂城下町への旅」では、北平野町絵図の精緻な写真から当時の町の様子を確認した後、実際に現在のまちなかを探索しながら、秀吉の城下町構想に思いを馳せます。

会場は、そんな豊かな歴史と文化を育んできた土地に建つNEXT21です。



2025年3月9日(日) 13:30～17:00(受付開始13:00)

参加
無料

小雨決行
荒天中止

会場 NEXT21 (2階ホール)



大阪市天王寺区清水谷町6-16
谷町六丁目駅7番出口より徒歩5分

定員 30名 ※応募多数の場合は抽選

参加費 無料

申込方法 QRコードまたは
URLよりアクセス



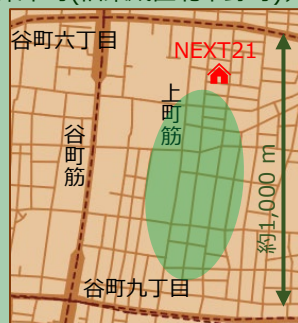
<https://x.gd/UXC9a>

申込締切 2025年2月21日

※先着順ではありません。
後日、登録いただいたメールアドレス宛にご連絡いたします。

当日の流れ(イメージ)

- 13:00～ 受付
- 13:30～ 作品の解説を聞く
- 14:30～ まちなかを探索する
NEXT21から南方へ
東平野町(旧東成区北平野町)界隈を 徒歩で回ります。



上町台地にある
知られざる仏像や
非公開の文化財も
見学できるかも！

- 16:00～ 感想を語り合う
- 17:00頃 解散

歩きやすい服装でお越しください。飲み物は各自ご持参ください。



(案内人) 谷 直樹(たに なおき)

1948年生まれ。
大阪市立大学名誉教授。日本建築史、
生活文化史、博物館学が専門
開館から2021年3月までの20年間、
大阪くらしの今昔館館長を務めた



(今昔館館長) 増井 正哉(ますい まさや)

1955年生まれ。
京都大学・奈良女子大学名誉教授
都市史、歴史遺産の保存・活用が専門
2021年4月～大阪くらしの今昔館館長



大阪くらしの今昔館では、特別展「徳川大坂城400年―城のかたち・まちの姿―」を開催します。(2月11日(火)～4月6日(日))

共催：大阪くらしの今昔館、大阪ガスネットワーク(株) エネルギー・文化研究所(CEL)

協力：大阪ガス実験集合住宅 NEXT21

包括連携協定に基づく
共催事業になります。

問合せ：大阪ガスネットワーク(株) エネルギー・文化研究所 担当 小西 TEL:06-6205-2366 (平日9:00～17:00)